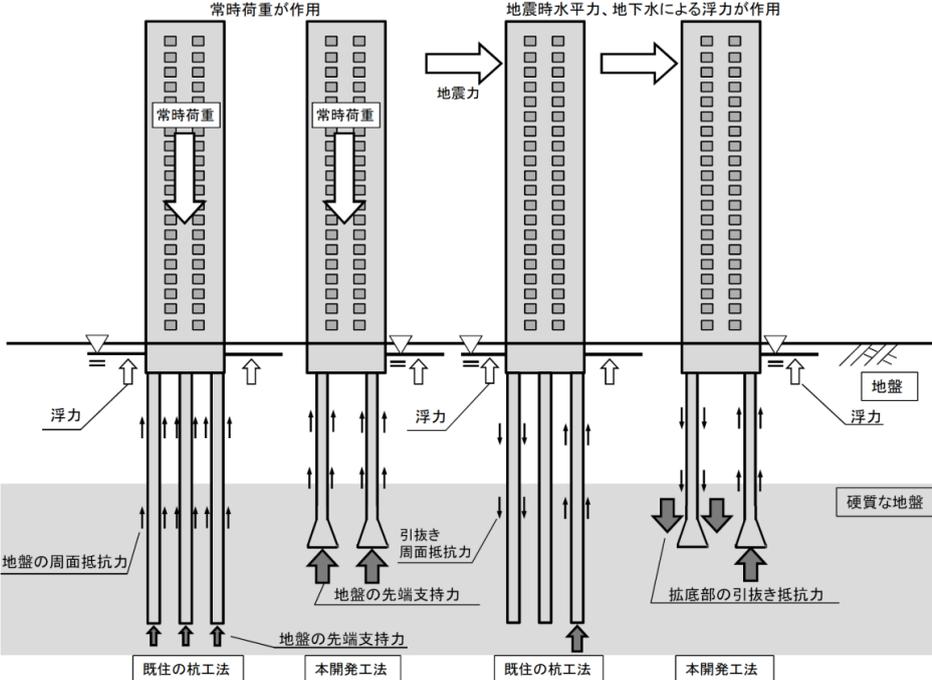


(新規課題)

NO. 14	技術開発 課題名	拡底率7.29倍、最大傾斜角21.1° の拡底部を有する場所打ちコンクリート杭の技術開発		
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・システム計測 株式会社 ・筒井 通剛 TM技術士事務所 			
技術開発 経費の総額 (予定)	約 86.03百万円	技術開発 の期間	平成25年度	
<input type="checkbox"/> 1 住宅等におけるエネルギーの効率的な利用に資する技術開発 <input type="checkbox"/> 2 住宅等に係る省資源、廃棄物削減に資する技術開発 <input checked="" type="checkbox"/> 3 住宅等の安全性の向上性に資する技術開発				
背景・目的	<p>杭の先端部に拡底率7.29倍、最大傾斜角21.1° の拡底部を設けることで支持力だけでなく、引抜き抵抗力を増大し、省資源化、発生残土の抑制、低コスト化とともに建築物の耐震性の向上を可能にする場所打ちコンクリート杭工法の実用化を目的とする。</p>			
<p>■技術開発の概要</p> <p>杭の先端部に拡底率7.29倍、最大傾斜角21.1° の拡底部を設けることで支持力だけでなく、引抜き抵抗力を増大し、省資源化、発生残土の抑制、低コスト化とともに建築物の耐震性の向上を可能にする場所打ちコンクリート杭工法である。 模型実験、実物載荷試験を行い、拡底部を有する場所打ちコンクリート杭の引抜き抵抗力の機構を解明し、設計方法を確立し、公的機関の証明を受け、実用化を進める。</p> 				
総評	<p>アスペクト比の大きい建築物の計画における杭の引き抜き対処に対する技術開発提案として評価されるが、市場化、普及の展開のためには杭体の形状の一般化を図ることが必要である。そのためにも、引き抜き評価手法を早期に確立し、工程計画を確実に遂行すること。</p>			